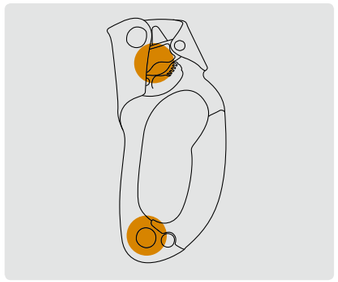
テクニカルインフォメーション - ギアの点検 -



ハンドル付アッセンダー

エイドクライミングでは、ハンドル付アッセンダーは酷使されます。ロープ登高に使用したり、ギアを詰めたバッグのホーリングに使用したりします。1000 m 以上もの長さのロープ上をスライドするので、良好な状態にあるものでなければなりません。
毎回、使用前に以下の確認を行って下さい：
- ハンドル付アッセンダー『アッセンション』の状態：ひび、変形、鋭くなったフレームのエッジ等がない。器具に通したロープがスムーズに動くことを確認する。カムのストッパーを点検する
- カムの状態を確認します。汚れがなく、歯の状態が良好で欠けていない、磨耗や腐食の跡がない
- コネクションホールの状態

カムの開閉のシステムが正常に機能することを確認します。バックアップをとった状態でロープを使用したテストを行い、カムがロープをロックすることを確認します。
大きな衝撃を受けた後は、製品を廃棄して下さい。

… www.petzl.com/ppe

ここに掲載した内容は全てを網羅するものではありません。各 PPE（個人保護用具）の詳しい点検方法については、それぞれの取扱説明書及び www.petzl.com/ppe を参照ください

テクニカルインフォメーション - 基本事項 -

1 ギアや装備の用意は慎重に

ルートに必要なギアを集め、途中で引き返す場合に必要なギアも装備します。水等が途中で足りなくなることがないように準備します。外部から完全に孤立してしまう状況を充分に考えて準備しましょう。小さいケガでも、世界の果てでは大ケガのように感じるものです。
ギア、装備、レスキューキットは複数のバッグに分散し、1個のバッグを落としてしまうことで全てを失うことがないようにします。

2 ギアの整理

ビッグウォールでの効率性を上げるためには、ギアを整理し、各人に必要なギアを分配することが重要です。ギアの整理は時間の短縮につながります。

3 合図の確認

意思の疎通はとても重要です。登り始める前に、合図の方法について確認をする必要があります。例えば、リードクライマーが「ビレイ解除」と言えば、リードクライマーがビレイ点のセットを終了し、フィックスロープがセットされたことを意味します。

4 信頼できるビレイ点を構築

ビッグウォールでは、ビレイ点はただビレイするだけではなく、荷上げやポータレッジのセット等にも使います。

5 ロープがこすれないように注意 ロープ登高の方法を選択

フィックスロープは、中間支点、ディレクション、ローププロテクター、バッグなどを利用してこすれないようにします。
ロープ登高の際は常に 2 つの独立したシステムを使用します（アッセンダー 2 個、またはアッセンダー 1 個とグリグリ 1 個）。アッセンダーとハーネスが常にランヤードで連結された状態を維持します。ルートによってロープ登高の方法を変えます。アッセンダー＋アッセンダー、アッセンダー＋『クロール』、アッセンダー＋『グリグリ』、アッセンダー＋『クロール』＋『パンタン』（ハングしたセクション）
注意： デイジーチェーンなどのウェビングランヤードでフォールすると、ちょっとした墜落でもクライマーの体とハーネスに非常に大きな衝撃荷重がかかる可能性があります。

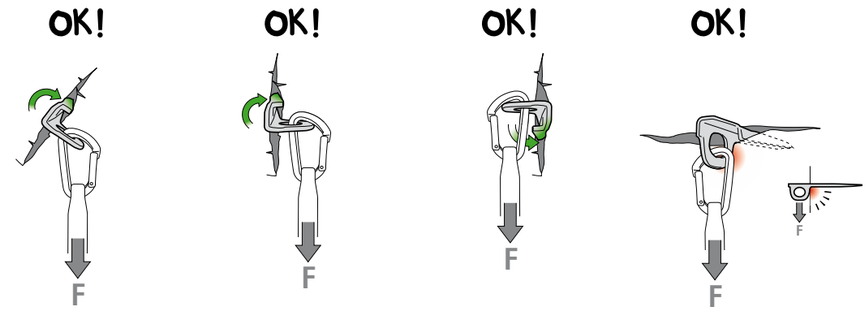
テクニカルインフォメーション - 技術情報 -

A. ピトン

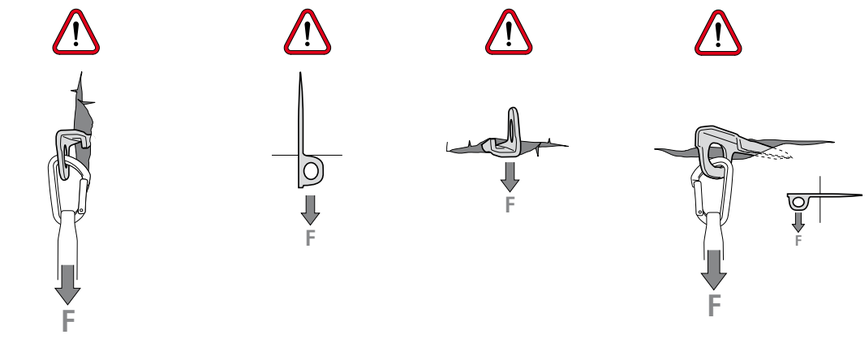
ピトンの強度は、ピトンの形状、設置方法、岩質、設置したクライマーの経験等によって変わります
墜落による力がかかった場合に、ピトンはクラック内でロックされなければなりません

カラビナに荷重（F）がかかると、ピトンのブレードにトルクがかかります。この力によってピトンはロックされます。摩擦力や挟み込む力のみに頼って設置したピトンは効きません

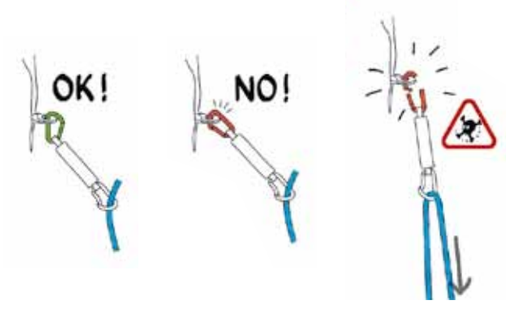
良い設置例



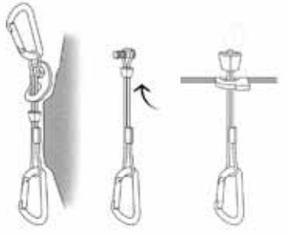
悪い設置例



ピトンへのクリップ

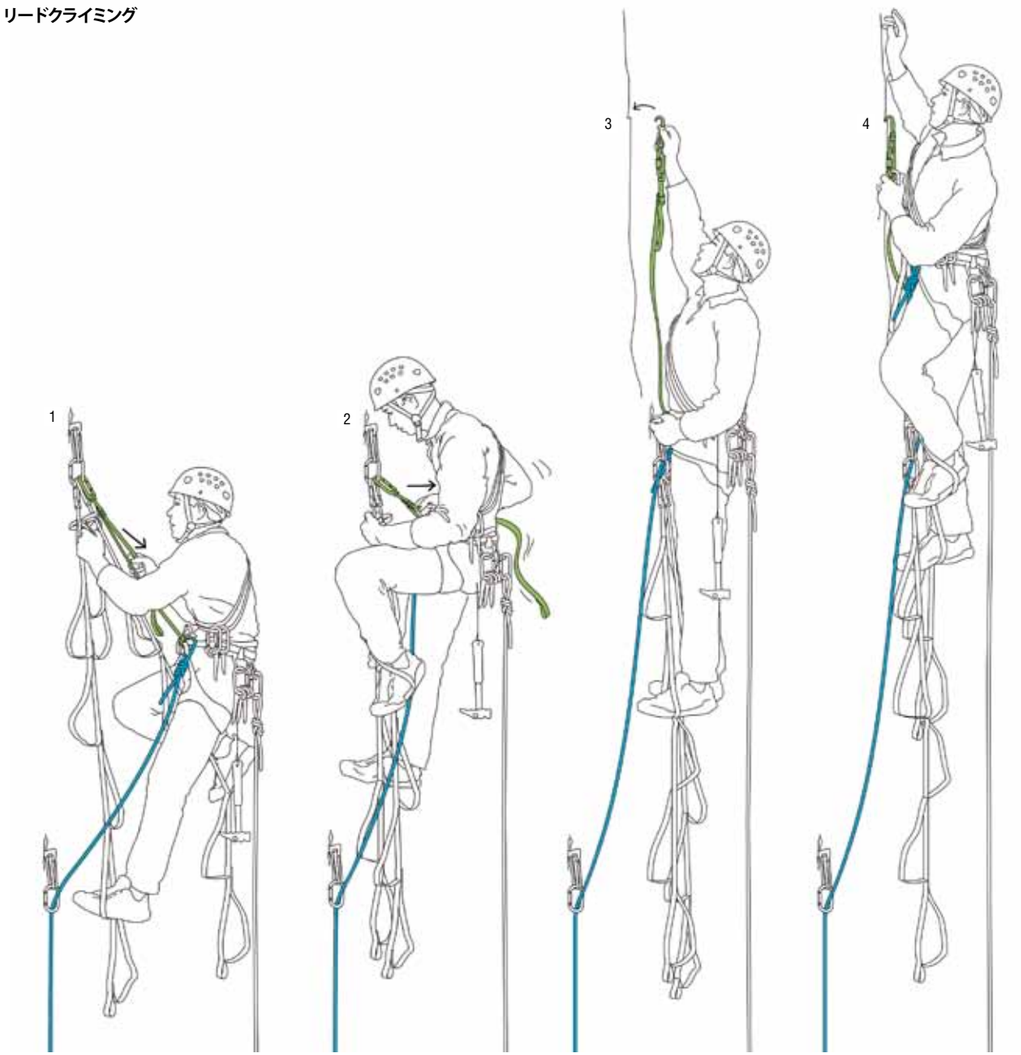


残置支点の活用方法



こちらに掲載した内容はすべてを網羅するものではありません。他の道やユーザーインストラクション、テクニカルマニュアルも参照ください。技術的なトレーニングも必ず行ってください。

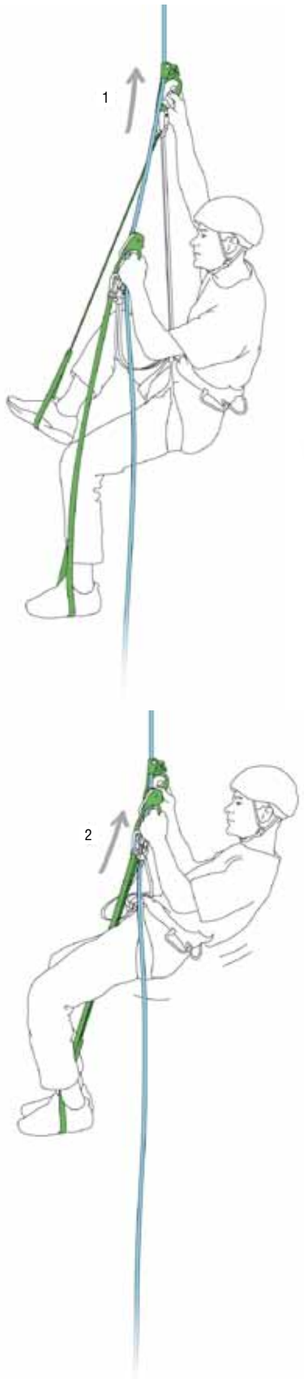
B. リードクライミング



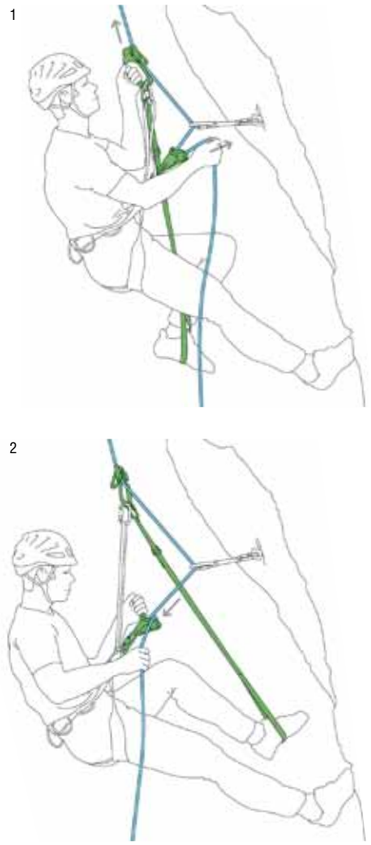
Southern Crossing でのピーター

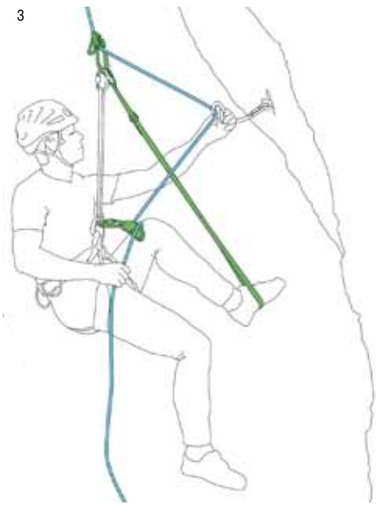
Southern Crossing でのマイカ・パーハルト

C. ロープ登高：ハンドル付アッセンダー２個を組み合わせた技術

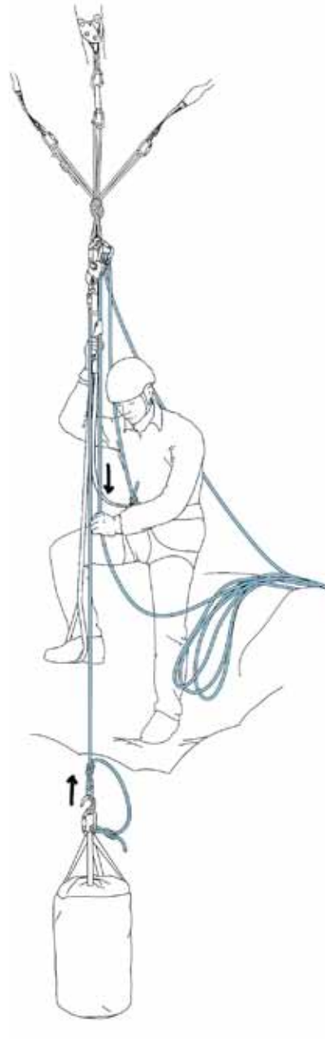


D.『グリグリ』を使用したルートのクリーニング





E. セルフジャミングプーリーを使用したホーリング



こちらに掲載した内容はすべてを網羅するものではありません。他の資やユーザーインストラクション、テクニカルマニュアルも参照ください。技術的なトレーニングもぶず行ってください。